

# みさと 福祉だより

第55号

平成28年  
2月15日

編集発行

社会福祉法人 美郷町社会福祉協議会  
☎0187-85-2294 ☎0187-85-2291  
印刷・株式会社アイ・クリエイト



## 大仙警察署から感謝状

特殊詐欺防止広報啓発活動へ取り組み

大仙警察永井署長(右)から感謝状の贈呈を受ける鈴木会長(左)＝大仙警察署



1月4日(月)大仙警察署で感謝状の贈呈式が行われ、鈴木会長が出席しました。  
これまで本会では、座談会や福祉だよりを通じて特殊詐欺防止広報啓発活動に取り組み、また非通知防止隊出発式(前号に掲載)で一人暮らし高齢者へ詐欺被害防止を呼びかけるなど、これらの活動に対して感謝状の贈呈を受けました。  
これからも美郷町社協は、安全安心な地域社会のための協力を惜しまず尽力してまいります。

※この広報は、赤い羽根共同募金の配分金と社協会費が使われています。



高齢者宅の除雪をする六郷高校の生徒たち

# 一斉除排雪活動事業

## 113世帯を除雪

この事業は毎年1月から2月にかけて単身老人世帯や高齢者世帯、障がい者世帯など、自力での除雪作業が困難な世帯を対象として2回行っています。

1回目は1月21日(木)に61世帯の除雪を行い、美郷中学校や六郷高校、老人クラブや福祉関係者などが

くさんの方々から除雪ボランティアとしてご協力をいただきました。

2回目は2月4日(木)に52世帯の除雪を同様に行い、この日もたくさんの方のボランティアからご協力をいただき、高齢者宅からは感謝の言葉をいただきました。

今年例年に比べると雪が少なく、言われていたように一人暮らしの高齢者や体の不自由な方など、自力での除雪作業が困難な方にとって、雪は深刻な問題となる場合もあります。特に玄関や窓などが、屋根から落ちた雪でふさがれていたり、地震や火災などの緊急時に外に出ることができなかつたり、救急車での搬送が困難になったり



千畑地区の出発式では、美郷中2年の澤野貴裕さんが「頑張ろう!」と元気に掛け声

する場合があります。また、FF式ストーブの屋外吸排気口が雪でふさがれたままにしておくと、一酸化炭素中毒などの命にかかわる事故を招くおそれもあります。

安心して暮らしていただける地域づくりが継続して実現されるためには、普段の地域での見守りと支え合いが何よりも重要になってきます。

この一斉除排雪活動は、除雪の危険を取り除くための一時的なものです。『誰もが』

計 774 人もボランティアからご協力をいただきました

※延べ人数

- ◆美郷中学校 (生徒)・・・322人
- ◆美郷中学校 (先生)・・・18人
- ◆六郷高校・・・・・・・・81人
- ◇美郷老連・・・・・・・・90人
- ◇消防団・・・・・・・・23人
- ◇民生児童委員・・・・33人
- ◇建設業協会・・・・59人
- ◇板金組合・・・・・・・・3人
- ◇技能組合・・・・・・・21人
- ◇JA職員・・・・・・・・10人
- ◇施設職員・・・・・・・25人
- ◇役場職員・・・・・・・49人
- ◇地元企業・・・・・・・・12人
- ◇一般ボランティア・・・5人
- ◇美郷社協職員・・・・・・・23人

ひとり一人が笑顔の一目

認知症対応型共同生活介護 グループホーム やすらぎの家 1号館

認知症対応型共同生活介護 グループホーム やすらぎの家 2号館

TEL.0187-84-1750 FAX.88-8421 (旧:そよかぜ)

美郷町畑屋字狐塚213-1 TEL.0187-84-2887 FAX.0187-84-2886

介護 (認知症等による) お困りの方、お気軽にご連絡ください。

ボイラー・ポンプ・漏水修理・井戸清掃など 水廻りの修理・リフォーム致します。

お気軽にご相談ください。

施工例

- ポンプ修理
- ボイラー修理
- 漏水修繕
- 井戸清掃

水まわりに関する事、なんでもご相談下さい!!

(有)坂本水道工業 TEL.0182-37-3113



# 歳末たすけあい募金

## お礼と報告

◎歳末募金額	642,782円
〈内訳〉	
団体募金	50,000円
職域募金	47,735円
学校募金	13,137円
個人募金	132,200円
歳末バザー売上	391,998円
募金箱	7,712円
◎配分内訳	
生活困窮世帯へ配分	570,000円
配分に係わる経費	4,018円
秋田県共同募金会へ送金	68,764円

昨年11月の歳末たすけあい運動では、バザーの供出品をはじめ、たくさんの方の善意が寄せられました。厚くお礼申し上げます。なお、募金の実績は左記のとおりです。

これらの善意は町内の生活困窮世帯42世帯へ、あたたかい正月を迎えていただくためにお届けしました。

また、経費を除いた残金は赤い羽根募金と合わせて秋田県共同募金会へ送金し、来年度に美郷町社協へ配分される額に上乘せされます。

美郷町社協では7月の社協会費をはじめ、10月の赤い羽根募金や11月の歳末チャリティーバザーの供出品など、町民のみなさんや企業、団体、職場、学校などから毎年たくさんのご協力をいただいているおかげで社協の事業は支えられています。

来年度も一層のご協力を賜りますようお願いいたします。

### 【募金をいただいた個人・団体・職域】

※敬称略

- ・ 亀谷美枝子
- ・ 大阪孝次
- ・ 亀谷医院
- ・ 扇龍会
- ・ 六郷高校
- ・ 美郷町社会福祉協議会職員互助会

※このほか、匿名でのご寄付もいただいています。




### CDMとは?

「コミュニティデザインミサト」の略で、自分たちのできる、まちづくり、人づくりなどを目指して結成された、地域間・世代間の垣根を越えたグループです。

(「コミュニティデザイン」)

人がつながるしくみを作る」の意)



## サンタクロースからプレゼント

### ～赤い羽根募金～

サンタクロースに扮したCDMメンバーから寄付を受け取る鈴木会長



美郷町内外の有志でつくる団体(CDM 扇田亮代表)が企画した、サンタクロース宅配サービスの収益金を寄付していただきました。

この宅配サービスは、町内の未就学児のいる家庭から事前にプレゼントを預かり、メンバー扮するサンタクロースが家庭を訪問して子どもどもたちに手渡すというもの。

今回、この宅配サービスを企画した同団体メンバーの鈴木正洋さん(宝門町)が、宅配時と同じサンタクロース姿でみさと福祉センターを訪れ、共同募金委員会へクリスマスプレゼントを届けてくださいました。

子どもたちにクリスマスプレゼントを配った様子は昨年12月24日の秋田さきがけ新報朝刊に掲載されました。

## 募金百貨店プロジェクトに岡田書店も加盟 —辞典類を寄付つき商品に—

12月24日、みさと福祉センターで募金百貨店プロジェクト加盟の第2回調印式が行われ、岡田書店の岡田和浩代表社員と覚書を取り交わしました。

美郷町共同募金委員会では、企業等から本業にメリットのある“寄付つき商品・企画”を募集する「赤い羽根共同募金百貨店プロジェクト」を進めています。今回このプロジェクトに合資会社岡田書店が加わり、辞典類の売上の一部を寄付していただけることになりました。



岡田書店の寄付つき商品は国語辞典や漢字辞典などの辞典類



取り交わした覚書を手にする岡田代表社員(左)と鈴木会長(右)

### 「募金百貨店プロジェクト」とは？



このプロジェクトは、協力企業(店)でご購入いただいた商品の売上の一部を募金していただく仕組みで、協力店・商品購入者・共同募金会の3者すべてにメリットがある取り組みです。昨年1月から取り組みを始め、現在10社から協力をいただいています。

なお、新規協力企業は随時受け付けておりますので、お気軽にお問合せください。(詳細は福祉だより第53号に掲載しています)

美郷町共同募金委員会(みさと福祉センター内)  
共同募金担当 総務課 TEL 85-2294

### 出張理容補助券の 早めの交換をお願いします

「平成27年度出張理容補助券」の交換期日が平成28年3月31日までとなっていますが、年度末のため、まだ手元にある方は3月中旬頃までに早めの利用を。また、補助券を交換されていない理容店の方は早めの交換をお願いします。

なお、平成28年度分の補助券の発行については、4月から申請を受け付けますので必要な方はご利用ください。(対象者や申請方法など、詳しくは次号でお知らせします)



※交換場所：みさと福祉センター  
TEL 85-2294

### 腰痛予防対策の研修会を開きました

—秋田県介護人材確保対策事業—



理学療法士の菅原さん

1月29日(金)、みさと福祉センターで社協職員を対象に腰痛予防対策研修会を行いました。この研修は、介護職の離職理由の一つである腰痛等の予防対策について学習し、身体的負担の少ない介護方法を身につけるためのものです。

秋田県社会福祉協議会が秋田県からの委託を受けて実施したもので、講師には理学療法士の菅原巳代治さんを迎えました。



腰痛予防体操



負担の少ない介護方法を実技を交えて教えていただきました

美郷老連だより 28

今思ふこと

美郷町老連仙南支部

照井 富士男



間もなく東日本大震災から五年が経とうとしています。また、昨年は鹿児島県の永良部島の噴火による全島避難や関東・東北各県の豪雨による災害等、各地で自然災害が相次ぎ発生しました。

今年に入る草々、今冬一番の強い寒気が日本列島を襲い、奄美大島では一五年ぶりに雪が降り、大荒れとなったと報道されてきました。また、私たち近隣でも高齢者による雪下ろし事故が相次ぎ発生しており、十分注意をして雪と仲良くしながら暮らせればと思います。

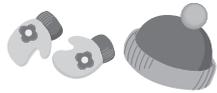
今、地域においては特に高齢者の経済的困窮や社会的孤立など、住民が抱える課題が複雑多様化しています。一方では近所同士の関係が年々希薄化しており、家族からの疎外感など、寂しい生活が潜在していると考えられます。私たち老人クラブもあらためて地域における人と人とのつながり

の再構築に努め、クラブ会員が心を一つにして支え合いの地域づくりに取り組みでいかなければならないと思います。

皆様もご存知と思いますが、老人クラブ運営要綱の目的に、「老人クラブは老人の老後の生活を、健全で豊かなものにし、老人の福祉の増進に資することを目的とする。」とあります。そのためにも私たちは参加しようとする人々を差別することなく受け入れ、会員の教養の向上、健康の増進、レクリエーションなどを通じて地域社会との交流を持つことが大切だと思います。

少子高齢化時代、ますます私たちの出番が重要となるものと思います。そのためにも資質向上に向けた研修の充実を図り、必要な知識習得に努め、行政ならびに社会福祉協議会のご指導ご協力を賜り、「好かれる・話せる・役立つ」クラブづくりを築き上げなければならぬと思います。

千畑在宅介護支援センターからの「お知らせ」



テーマ 冷え性について



冷え性とは血液の流れが悪くなることが一番の原因で、冬だけでなく手足・腰・肩などに極度の冷えが生じる症状です。

寒さで体温が下がって血行が悪くなると老廃物が溜まって必要なものが運べなくなり、様々な症状が出たり病気にかかったりする危険が増します。

体温が1℃下がると代謝が10~20%、免疫力は30%も低下するといわれています。

そこで今回は冷え性の“改善策”をご紹介します。

★朝食をきちんと食べ、夜間の飲食は避けましょう。

・できるだけ体温より温かい物や消化の良い物を食べましょう。

・果物は日中に食べるのがベストです。

★体を動かすことを心がけましょう。

・運動不足により血行が悪くなっていることが原因である場合も多いので、少しでも体を動かして手足の末端まで血液が流れるようにすることが大切です。

★シャワーだけでなく湯船に浸かりましょう。

・湯船に浸かることで体が温まり血行が良くなります。また、手足が

冷たいからといってそこだけ温めても冷え性は改善されません。体全体を温める必要があります。

生活習慣や環境の改善で冷え性を軽くすることができます。

いろいろな方法を試してみて自分に合った改善策を見つけ、快適にお過ごしください。





# 六郷高校福祉科通信

## 福祉科の様子

今年はや暖冬かと安心していましたが、思い出したかのように雪が降ってきました。立春とはいえ寒さ厳しく、暖かな春の訪れが待ち遠しいこの頃です。福祉科三年生は「介護福祉士国家試験」の受験が終わりました。毎日朝早くから夜遅くまで勉強をする先輩達の姿はまぶしく見えました。真剣な様子に私たちも陰ながら応援していました。全員が合格につながることを願っています。

卒業式は三月二日。有終の美を飾ってほしいと思います。

## 除雪ボランティア

一月二十一日(木)一年生が、除雪ボランティアを行いました。今年には雪が少なく、実施できるか心配しましたが、その日に合わせるかのように雪が降ってきました。スコップを持つのが初めてという人もいて、最初は心配しましたが地域の方々から効率的な雪寄せの仕方を指導していただきました。これを機会に自宅の除雪も家族任せではなく、積極的にやってみようと思います。



◇冬休みの課題として、一年生の福祉科選択者が実際に紙おむつをつける実体験をしました。おむつをしている人の気持ちになってみるのが目的でしたが、ほとんどの人が違和感を覚えすぐに外してしまったり、羞恥心が強かったようです。報告会では、常に相手の立場になってお世話をすることを全員で再確認しました。二年生から始まる施設実習に向けて、しっかりと勉強しようと思います。

◇一年生を含む福祉科全員が参加し、介護福祉士国家試験に臨む三年生の激励会を行いました。三年生は緊張しているようでしたが、私たち後輩の目には誇らしく見えました。遅くまで勉強する様子を見ていた私たちに「合格」の二文字が浮かんできました。来年度からは、新しい試験内容となります。気持ちを引き締めて頑張りたいと思います。



激励会



試験前夜



発表会の様子

## 今年一年を振り返って



小学生体験学習



笹竹祭



花壇花植え



宣誓式



大曲養護学校交流会



中学生体験入学



ボランティア



認知症サポーター養成講座

## 介護福祉士 国家試験を終えて

### 福祉科三年生

◇毎日の授業だけで何とかなるだろうと侮っていました。今は勉強不足に後悔だらけです。卒業まで、少しの時間も無駄にせず就職に向けて知識・技術の再確認をしていきたいと思います。

◇模試の成績が不安定だったのでとにかく必死に勉強しました。当日は自分の力を全て出し切ることができました。これまで支えていただいた先生、友人、そして家族に感謝の気持ちでいっぱいです。

◇試験までの日数が気になりながらも勉強に集中できずに後悔だらけです。勉強の大切さを重く感じています。

◇先生の話聞くことが何より大切です。勉強をした分だけ自信につながり、確実に向上し結果に表れてきました。

◇国家試験は自分の人生最大の勝負だったと思います。取り掛かりが遅く親や先生方に心配をかけましたが、これまでにならぬ努力を重ねたことは自分にとって大きな収穫となりました。

◇勉強は早くから始めることが大切です。やらないと結果にはつきりと出ません。先生方の指導や後輩の協力がなければできませんでした。授業はもちろん、毎日の勉強が絶対必要です。

※先輩のアドバイスを活かし、来年の国家試験に向けて頑張りたいと思います。

### 介護の魅力発見セミナー を開催します

このセミナーでは、高齢者の尊厳を守り、当たり前の生活を支える「介護」の意味、介護の仕事に就く者だけではなく、家族など周りの方々の「関わり方」について遊びリテーション（遊び+リハビリテーション）を交えて考えます。

どなたでも無料で参加できますので、興味のある方は秋田県社会福祉協議会へお問合せください。

- ★と き：平成28年3月5日（土）午後1時30分
- ★ところ：秋田市文化会館 大会議室
- ★テーマ：「介護の魅力と奥深さ」  
～自分らしく（その人らしく）  
生きることを支える介護の意味～
- ★講師：生活とリハビリ研究所  
研究員 下山名月氏

【問合せ・申込み先】秋田県社会福祉協議会  
TEL 018-864-2880

### 行政協力員を兼ねている 福祉委員へお願い

この福祉だよりは、各家庭へ配布する際、各地区の福祉委員を通じて配布していただいております。地区によっては行政協力員を兼ねている福祉委員も多いため、配布の負担が少なくなるように（二度手間にならないように）するため、町のお知らせ版（15日発行）に合わせて偶数月の15日に福祉だよりを発行しています。

（配送状況によって前日または翌日になる場合あり）

4月から福祉委員が交代する地域は、引き継ぎの際に以上のことにもご留意いただきますよう、よろしくお祈りいたします。

（3月に交代届の用紙を発送します。）



以上の方々より当協議会に善意の金品をいただきました。ご厚意に對し、心からお礼申し上げます。なお、歳末募金にご協力をいただいた個人・団体につきましては4面に掲載しています。

- ※このほか、匿名での寄付もいただいております。
- 大崎市 鎌田 金夫 様
- 天神堂 佐藤 稔功 様
- 押切紀の国 地主 隆 様
- 旭町 赤坂 隆 様
- 駅前市 照井 治 様
- 松岡 剛 様
- 大仙市 村岡 剛 様
- 旭町 戸田 明人 様
- 一丈木 佐藤 繁美 様
- 上深井 佐藤 繁美 様

- 香典返し
- 大崎市 鎌田 金夫 様
- 天神堂 佐藤 稔功 様
- 押切紀の国 地主 隆 様
- 旭町 赤坂 隆 様
- 駅前市 照井 治 様
- 松岡 剛 様
- 大仙市 村岡 剛 様
- 旭町 戸田 明人 様
- 一丈木 佐藤 繁美 様
- 上深井 佐藤 繁美 様

- 一般寄付
- コスモスの会 様
- 芝草の会 様
- よねや株式会社 様
- 中島・藤原 九島 章子 様
- 後三年 高橋 千枝 様
- 第一 煙山 邦子 様
- 佐野 キツカワ宅配サービス（乳製品） 様

物品寄付

善意  
（平成27年12月1日〜平成28年1月31日受付分）  
※受付順

編集後記  
日本を直撃し、全国の9割以上の地域で氷点下の冷え込み。沖縄本島では初雪ならぬ「初の雪」を観測するという事態に。普段雪が積もらない地域でも積雪があり、交通網の麻痺や転倒でのケガが続出など、深刻な影響をもたらしました。いくら寒さや雪に慣れていないといっても、自然のさし加減ひとつでこども一人一人の生活に影響が出てしまう現実。いくら色々な技術が進歩して生活が便利で豊かになったとしても、自然の中の一部を借りて生活している事実は今も昔も変わらないと言っても過言ではないでしょう。（H.D.）

就労のための「出張相談」をご利用ください  
主 催：秋田県南若者サポートステーションよこて（厚生労働省委託）  
日 時：2月23日（火）午前10時から正午まで  
場 所：みさと福祉センター 相談室  
対象者：15歳から39歳までの現在無職の方で、就職したいが自分に合う仕事が見つからない、人と話すことが苦手、などで悩んでいる方およびご家族  
お申込み：事前に下記の電話でご予約ください。  
問合せ：秋田県南若者サポートステーションよこて  
横手市横山町1-1（すこやか横手内）TEL 0182-23-5101  
ホームページ <http://sapoyoko.jp>

みさと福祉センター  
社会福祉法人 美郷町社会福祉協議会  
美郷町介護事業所

〒019-1541  
秋田県仙北郡美郷町土崎字上野乙6番地1  
【ホームページ】<http://www.misatocho-shakyo.or.jp/>  
TEL0187(85)2294(代) FAX0187(85)2291  
misato-fukushi@ceres.ocn.ne.jp  
TEL0187(87)6128(代) FAX0187(87)6680  
misato-kaigo@ceres.ocn.ne.jp